講演会のご案内

身近な放射線と健康被害について

福島原発事故からもうすぐ5年。福島県では小児甲状腺がんの多発が報告されています。（事故当時18才未満だった受診者のうち、先行調査・本格調査合わせて138人の甲状腺がん、あるいはその疑いがあります。）

甲状腺は身体の代謝、成長、成熟に必須の甲状腺ホルモンを産生するところです。成長期の子どもたちにとって大きなリスクを背負い込むことになりました。さらに、低線量被ばくによる健康被害は甲状腺がんだけではありません。

被ばくするということは子どもたちの未来にどのように影響してくるのでしょうか？

身近な放射線と健康被害について本当のことを知るために、崎山比早子さんに来ていただくことになりました。是非ご参加下さい。

○日時　2016年1月17日（日）13：30～16：00

○会場　ビッグ愛9階会議室 A （和歌山市手平 2-1-2）

○講師　崎山比早子さん

○参加協力費　500円（参加申込不要・当日参加可）

崎山比早子さんの略歴

1974年千葉大学大学院医学研究科修了　医学博士
元マサチューセッツ工科大学研究員
元放射線医学総合研究所主任研究官　を経て高木学校メンバー
元国会事故調査委員会委員

＊高木学校とは
（故）高木仁三郎さんが市民の科学者を育てるために
1998年に設立した学校です。

主催　子どもたちの未来と被ばくを考える会

事務所：和歌山市三番丁6関西電電ビル4階　金原法律事務所内
問合先：事務局　松浦　TEL：073-451-5960

協賛 ： 生活協同組合 コープ自然派和歌山/にんにこ被災者支援ネットワーク 和歌山
上岩出診療所/原発がこわい女たちの会（順不同）